

「玉名かるた」 読み句紹介（あ～ぬ）

5月24日 現在申込状況					212
応募数	頭字	読み句	解説	関連情報	関連場所
5	あ	ありあけかい 有明海 のり や あさり たから うみ 宝の海	玉名市内には5つの漁港があり、ノリの養殖やアサリの採取が盛んに行われている。 収穫期 ノリ：11月～3月 アサリ：年によって時期がマチマチ…（H29年は3月～8月）	大正開漁港 新川漁港 大浜漁港 横島漁港 滑石漁港	地図－あ① 地図－あ② 地図－あ③ 地図－あ④ 地図－あ⑤
6	い	いしだみ たか かせまい は は こ たわら 石畳 高瀬米運んだ 俵ころがし	江戸時代、高瀬から大坂堂島へ「高瀬米」を積み出した市指定文化財「高瀬船着場跡」は、「俵ころがし」として親しまれている。	3	地図－い
9	う	うら かわ いしばし わた 裏川の 石橋渡れば はなしょうぶ 花菖蒲	江戸時代、貿易港として発展した高瀬の裏川には石垣や桁橋が整備された。現在は約700mにわたって菖蒲が咲き誇り、毎年花しょうぶまつりが開催されている。	花しょうぶまつり （高瀬裏川水際緑地） 5月下旬～6月上旬	地図－う
7	え	えきでん かなくりし ぞう いさん 駅伝は 金栗四三の 遺産なり	金栗四三は「マラソンの父」と呼ばれた日本人初のオリンピック選手である。様々な偉業を成し、玉名市で生涯を終えた。	金栗杯ハーフマラソン 金栗四三銅像（玉名高校内）	地図－え
3	お	音楽の あふれる都 わが玉名	「音楽の都玉名」を目指し、官民間わず、様々な分野の音楽活動を行っている。	マスコット 「たまにゃん」	
4	か	かた せんそう いせき おおはま ひこうじょう 語りつごう 戦争遺跡の 大浜飛行場	大浜地区には太平洋戦争時に建設され、爆撃を受けて破壊された飛行場施設の跡が点在している。	大浜飛行場跡	地図－か
6	き	きく ちがわ こ こ さつ まぐん 菊池川 越すに越されぬ 薩摩軍	西南の役の転換点のなった「高瀬の闘い」が繰り広げられた高瀬・繁根木地区。西郷隆盛の末弟、西郷小兵衛が戦死した地とされる。	西郷小兵衛戦死の地碑	地図－き
5	く	くんぶう ゆ やまだ ふじ 薫風や ほのかに揺れる 山田の藤	山田日吉神社の境内にある推定樹齢200年の大木「山田の藤」は、県指定の天然記念物。毎年4月末頃から多くの人を訪れる。	開花時期：4月下旬 ～5月中旬	地図－く
5	け	げんくろう はなし つきぜ 源九郎さん お話たくさん 月瀬にのこる	月瀬(月田)に幕末から明治にかけて住んでいた、本名：叶源九郎恒信にまつわる民話が今も伝えられている。	源九郎公園（溝上）	地図－け
2	こ	こうべいき きむらてつた せかいたび 航米記 木村鉄太の 世界旅	玉名市出身の肥後藩士、木村鉄太は世界一周の旅をし、「航米記」を残している。	木村鉄太の墓	地図－こ
3	さ	さくらさく じゃがたにこうえん 蛇ヶ谷公園 きれいだな	蛇ヶ谷公園には、約5,000本の桜が植樹され、毎年、多くの花見客でにぎわう。	桜開花時期 3月～4月	地図－さ
4	し	しらさぎ きず い やした たまなおんせん 白鷺が 傷を癒した 玉名温泉	玉名温泉はかつて「立願寺温泉」と呼ばれ、1,300年もの歴史がある。白鷺が傷をいやしたとの言い伝えがある。	玉名温泉一帯	地図－し
5	す	すみや ちようじゃでんせつ ひきの さと 炭焼きの 長者伝説 足野の里	かつて足野の里（立願寺）に住む炭焼き小五郎（後の足野長者）にまつわる伝説が残っている。	足野長者ゆかりの神社 足野神社	地図－す
4	せ	せきじゆうじ おし つた しらうめ おとめ 赤十字 教え伝えし 白梅乙女	元老院議員佐野常民が戦傷者の救護や博愛社の設立について打合せを行ったという秘話が伝えられており、その場所は現在、学校法人白梅学園が運営している玉名女子高等学校となっている。敷地には「日本赤十字社発祥之地」と標した記念碑が建立されている。	日赤発祥の地 玉名女子高	地図－せ
11	そ	そうせき おあま ゆ 漱石も たのしむ小天の 湯とみかん	第2回締切をもって募集を終了しました		
9	た	たいりょうばた じゅうねんい ち ど ねん き さい 大漁旗 十年一度の 年紀祭	大浜外嶋住吉神社の年紀祭は、市選択無形民俗文化財に指定され、10年に1度行われている。	大浜外嶋住吉神社 菊地川下流	地図－た
3	ち	ちからこめ たわら 俵ころがし ひっぱるぞ	江戸時代に米の積み出しが行われた「俵ころがし」を由来とした「大俵まつり」が毎年11月23日に開催されている。	大俵まつり 11月23日 （玉名市役所周辺）	地図－ち
3	つ	つらいとき ふと口ずさむ しん みんし 真民詩	明治の詩人：坂村真民は、父親の死後、玉名市に在住し教職の傍ら多くの作品を残した。	「念すれば花ひらく」 700番碑（玉名高校）	地図－つ
4	て	てんしきう ひ けむり むびよう 天子宮 火煙とんで 無病ねがう	天水町小天の天子宮（小天神社）で行われる「火渡り神事」は、1,300年の歴史があるといわれている。	小天天子宮（小天神社） 火渡り神事 10月14日	地図－て
7	と	どうげん け さ つ た こうふくじ 道元の 袈裟が伝わる 広福寺	石貴にある紫陽山廣福寺（広福寺）には曹洞宗の開祖道元が用いていた袈裟が文書と共に伝わっており、国指定の重要文化財に指定されている。	紫陽山廣福寺（広福寺） （玉名市石貴）	地図－と
4	な	なつ よ たいりん はな ま のうりょうはなび 夏の夜に 大輪の花舞う 納涼花火	毎年、8月第一金曜日、10,001発を打ち上げる玉名納涼花火大会が菊池川河川敷で行われる。	玉名納涼花火大会 8月第1金曜日 （高瀬大橋付近）	地図－な
6	に	にほんはつ そうしよくふん くにし せき 日本初 装飾古墳は 国史跡	「石貴ナギノ横穴群」「石貴穴観音横穴」は、大正10年に国指定の史跡となった。装飾古墳として日本国内で第一期の指定という記念すべき史跡。市内の装飾古墳としては、他に大坊古墳、永安寺東古墳などがある。	石貴ナギノ横穴群 石貴穴観音横穴 （大坊古墳？永安寺古墳） 装飾古墳県内一斉公開	地図－に
2	ぬ	ぬりたくり お わか がけにな 老いも若いも 瀧担い	広大な干拓地である横島町には、江戸時代から昭和初期まで行われた干拓工事の作業歌「横島瀧担い節」が民謡として伝えられている。	横島町一帯 旧玉名干拓施設	地図－ぬ

「玉名かるた」 読み句紹介（ね～ん）

5月24日 現在申込状況

応募数	頭字	読み句	解説	関連情報	関連場所	
6	ね	ね ^{ね よめ} 練り嫁の 行列 ^{ぎょうれつ み} 見守る 南北 ^{なんぼく りょう} 両八幡	伊倉南北八幡宮の節頭の行事として行われている「練り嫁り行列」。美しく着飾った女性たちを中心に行列を組んで宮参りする光景が見られる	伊倉南北両八幡宮 春季大祭 4月中旬 秋季大祭 10月15日	地図-ね	
3	の	の ^{のき} 軒をこえ 氏 ^{うじ} まで残す 大蘇鉄 ^{の こ おおそてつ}	岱明町大野下の「蘇鉄」さんのお宅の庭には、樹齢千年といわれる大蘇鉄（ソテツ）があり、国指定の天然記念物に指定されている。	大野下の大ソテツ	地図-の	
6	は	は ^{はちまん} 八幡さん ヨイトコヨイの 声響 ^{こえ ひび} く	毎年10月に行われる繁根木八幡宮秋季例大祭では、節頭馬奉納の豊栄舞が行われ、「ヨイトコヨイ」の掛け声が市内に響き渡る。	繁根木八幡宮秋季例大祭 10月28・29日	地図-は	
3	ひ	ひ ^{ひでよし} 秀吉の 泊まり ^と し証し 陣太鼓 ^{あかし じんたいこ}	高瀬五ヶ寺のひとつ願行寺には、九州平定の際、願行寺を宿陣とした豊臣秀吉が謝礼として残したとされる陣太鼓が所蔵されている。	願行寺（高瀬）	地図-ひ	
2	ふ	ふるさとの 味 ^{あじ} はなつかし 高瀬飴 ^{たか せあめ}	江戸時代に米の集積地であった高瀬で興った飴菓子。米を原料とした健康自然食品で、母乳代わりの滋養分に富んでおり、昔から産婦のお見舞いに使われてきた。	田尻高瀬飴本舗 野田飴老舗		
4	へ	へいあん ^{へいあん むかし} 平安の昔から 小岱山 ^{しょうたいざん} は たたら ^{さと} の里	花崗岩で形成されている小岱山麓では、砂鉄が豊富で古くから製鉄が行われた。県指定史跡になっている三ツ川の六反製鉄跡の一部が残っている。	六反製鉄跡（三ツ川）	地図-へ	
3	ほ	ほ ^{ほとけ ちから} 仏の力で 平安願 ^{へいあん} う 豪潮 ^{ね が ごうちゅう} さん	岱明町専光寺の次男として生まれた豪潮は、修行の後、繁根木山寿福寺の住職となり、高い評価を受けた書画をはじめ宝篋印塔（ほうきょういんとう）など様々なものを残した。	専光寺（岱明町高道） 寿福寺跡（繁根木） 宝篋印塔	地図-ほ① 地図-ほ②	
4	ま	まつ ^{まつ ゆき} 松の雪 コスメ・デ・トール ^{しの} ス 僣 ^{おご} ばれる	「松の雪」はポルトガルの宣教師が伊倉の菓子職人に伝授したと言われるカステラ菓子 「コスメ・デ・トールス」は、ザビエルと共に日本に渡航し、高瀬に訪れたスペイン人宣教師	安田製菓店（高瀬） 切支丹墓地（伊倉）	地図-ま	
7	み	みづ ^{みづ た} 水溜めて 田畑 ^{たはた} うるおす 白石堰 ^{しらいしせき}	菊池川左岸の農業用水確保のため、玉名市溝上と和水町白石の間に築かれた白石堰。菊池川下流の農業用水のみならず、治水などでも大きな役割を果たす	白石堰（月瀬）	地図-み	
5	む	むしや ^{むしや よ} 武者ん良か 流鏑馬 ^{やぶさめ} 梅林天満宮 ^{ばいりんてんまんぐう}	梅林に所在する梅林天満宮は、大宰府天満宮から勧請されたと伝えられる。毎年11月25日の例大祭では、流鏑馬が奉納される。	梅林天満宮例大祭 （流鏑馬）11月25日	地図-む	
2	め	めいとう ^{めいとう} 名刀は 折れ ^お ず曲 ^ま がらず 同田貫 ^{どうだぬき}	「同田貫」は、かつて玉名で鍛刀した刀工（刀鍛冶）の一派が名乗った派名。「兜割り正国」に代表され、剛健にして折れ曲がらず、実用本位に鍛えられた特徴を持つ。	歴史博物館こころピア 同田貫刀鍛冶の墓	地図-め① 地図-め②	
2	も	もめん ^{もめん めの} 木綿布 染めて 藍色 ^{あいいろ} 高瀬しぼり ^{たかせ}	「高瀬しぼり木綿」は、「豊後絞り木綿」と並んで日本最古の絞り木綿。主に下着として使われていたためか現物が残っていない。			
2	や	や ^や 矢の如く 流星 ^{ごと りゅうせい} 飛びかう 四十九池 ^{しじゅうくいけ}	築地に所在する四十九池神社の大祭（毎年10月15日）では、盛大な花火と楽が氏子によって奉納される。	四十九池神社大祭 10月15日	地図-や	
2	ゆ	ゆうづる ^{ゆうづる ひ} 夕鶴や 彦一 ^{ひ こ} ばなしの 木下順二 ^{きのしたじゅんじ}	『夕鶴』『彦市ばなし』などを生んだ劇作家：木下順二氏は、東京生まれながら、伊倉で代々惣庄屋を務めた家柄であり、氏自身も父の帰郷と共に度々伊倉を訪れている。	木下家の旧家	地図-ゆ	
5	よ	よこしま ^{よこしま うみ} 横島は 海をしめきり できた町 ^{まち}	江戸時代初期から昭和の初期にかけて行われた干拓事業によって形成された横島町。干拓遺産の一部は、県重要文化財に指定されている。	横島町一帯 旧玉名干拓施設 石塘 樋門	地図-よ	
6	ら	ラーメンは 玉名 ^{たまな} 自慢 ^{じまん} の 名物 ^{めいぶつ} だ	熊本ラーメンのルーツといわれる玉名ラーメン。市内のラーメン専門店玉名ラーメン協議会を組織しており、玉名の名物として定着している。			
6	り	りゅうち ^{りゅうち しゅうめいさく} 笠智衆 名作 ^の 残した 名俳優 ^{めいはいゆう}	天水町来照寺の住職の息子として生まれた俳優：笠智衆は「日本のおじいちゃん」として親しまれた。昭和の映画史に欠くことのできない名優。	来照寺	地図-り	
1	る	るびい ^{いろ たまな} 色 玉名の産物 いちご ^{さんぶつ} にトマト	いちご・トマトは、大浜・横島地域を中心に盛んに生産されており、一大産地となっている。 収穫期 いちご：12月～5月 トマト：11月～6月	大浜町・横島町一帯		
10	れ	れんげいん ^{れんげいん} 蓮華院 世界一の 鐘 ^{せかいいち} ひびく ^{かね}	第2回締切をもって募集を終了しました		蓮華院誕生寺奥之院	地図-れ
8	ろ	ろうそくを 実 ^み から作 ^{つく} った ハゼ並木 ^{なみき}	菊池川の堤防沿いに約3.2kmに渡って237本も植樹されたハゼ並木（国の登録記念物）は秋に真っ赤に色づく。かつて熊本藩の特産品奨励として盛んだった木蠟生産の名残である。	松木・六田・小浜地区の 菊池川堤防沿い 紅葉見ごろ 11月下旬～12月	地図-ろ	
4	わ	わきあがる 命 ^{いのち} の源 尾田 ^{みなも} の丸池 ^{た まるいけ}	天水町尾田川公園の尾田の丸池は、多量の水が湧き出し、熊本名水百選になっている。	尾田川公園	地図-わ	
	を	ほうさく ^{ほうさく} 豊作を 雨乞い ^{あ ま ご} 踊り 八大龍王 ^{はちだいりゅうおう}	岱明町大野下に伝わる雨乞い祭事「大野下雨乞い奴踊り」は、市の選択無形文化財。雨を呼ぶと言われる「八大龍王」を祀る綿津見神社で行われる。	綿津見神社 大野下雨乞い奴踊り 7月下旬	地図-を	
4	ん	おに ^{おに} 鬼ん出た 玉名 ^{で たまな} ん里 ^{さと} の 神楽舞 ^{かぐらまい}	玉名市の各地域に伝承されている神楽は、肥後神楽と呼ばれる系統に属している。各地域で伝承・保存活動が行われている。	市内各地域		